

『出雲大社周辺エリアにおける観光客と地域住民の 移動環境向上のための低速モビリティ導入に係る社会実験』の 実行可能性調査結果について

○概要

出雲大社周辺エリアの神門通り及び狭隘な道路を中心として、観光客と地域住民の移動環境の向上を図ることを目的に、低速モビリティ（シニアカー・グリーンスローモビリティ）の導入について検討を行いました。

令和元年度は、下記の実行可能性調査を行い、利用者のニーズ、導入の可能性と安全性を調査しております。調査の結果は、シニアカーレンタルサービス及びグリーンスローモビリティ運行について、安全性や導入に向けての課題はあるものの、観光客・地域住民共にニーズがあるとの結果となりました。

この結果を受け、協議会で現地実証実験（社会実験）の実施について検討した結果、大半の委員の方から社会実験を実施すべきとの意見をいただいたところです。

この意見を基に、令和 2 年度の社会実験実施について検討いたしましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により、実験対象者である観光客が激減しており、令和 2 年度の実証実験については見送り、令和 3 年度に実施することとしました。

○令和元年度に実施した実行可能性調査について

1. 調査概要

現地実証実験（社会実験）を実施するための事前調査。

① 観光客に対するニーズ調査（令和元年 11 月 10・28～30 日）

シニアカー試乗体験を行い、アンケート調査。

グリーンスローモビリティ乗合交通のニーズ調査。

② 地域住民に対するニーズ調査（令和元年 12 月 17 日～令和 2 年 1 月 10 日）

グリーンスローモビリティ乗合交通の利用意向調査。

③ 関係機関・団体等ヒアリング調査（令和 2 年 2 月 12・13 日）

警察、関係者等立会いの下でシニアカーを試走させ検証。

2. 実施団体

『出雲市低速モビリティ導入社会実験協議会』

〔委員〕 13 名：地元関係団体・島根県・市等

〔オブザーバー〕 国土交通省・島根県出雲警察署

〔事務局〕 市役所（道路建設課・交通政策課・防災安全課・観光課）

3. 事業費及び財源

①事業費：100 万円 ②財源：国土交通省負担金（交付率は 10 / 10）

[参考例]

《シニアカー》



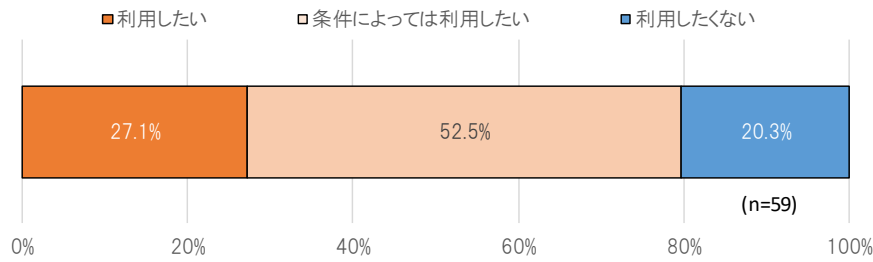
《グリーンスローモビリティ》



○調査結果

1. シニアカーレンタルサービスの利用意向

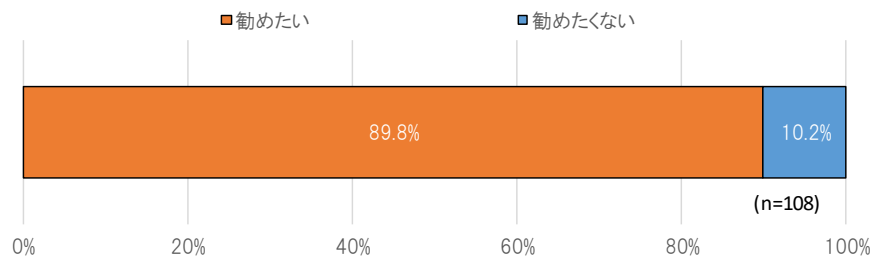
利用したいか（高齢者）



主な条件

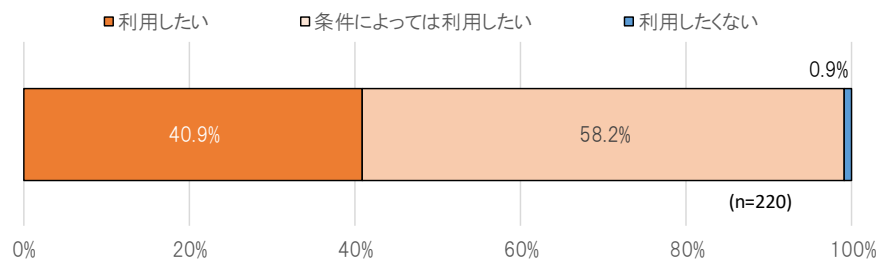
- ・歩行困難になったら
- ・人の邪魔にならなければ
- ・駐車場所があれば

身近な方に利用を勧めたいか（若年者）



2. グリーンスローモビリティの運行について【観光客】

（出雲大社付近～稲佐の浜間）

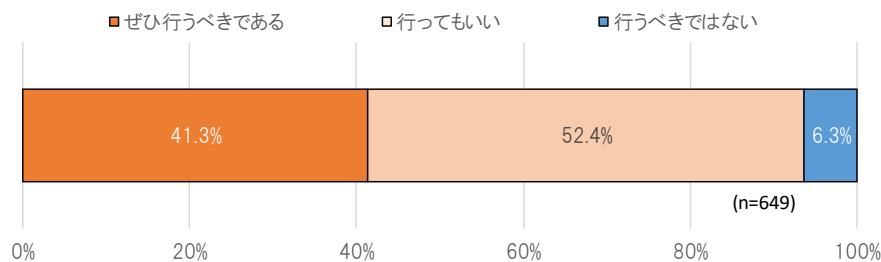


主な条件

- ・価格によっては
- ・本数が多ければ
- ・天候が良ければ

3. グリーンスローモビリティの運行について【地域住民】

（ラピタ大社店～ショッピングタウンエル間）



《アンケート調査状況》



○協議会の意見

協議会 3 回実施（令和元年 10 月 16 日・11 月 10 日・令和 2 年 3 月 16 日）

1. 現地実証実験（社会実験）の実施

委員総数 13 名

- | | |
|-----------------------------|------|
| ・実施すべき | 11 名 |
| ・シニアカー実施すべき・グリーンスローモビリティ再検討 | 1 名 |
| ・回答なし | 1 名 |



現地実証実験（社会実験）を実施することで賛同を得る。

2. その他意見

- ・シニアカーについて、地元高齢者の利用を検討すべき。
- ・グリーンスローモビリティについて、利用しやすいルート及び頻度、安全性について検証が必要。
- ・将来的な有料運用を念頭に置いて検討すべき。
- ・利用者の転倒等における管理瑕疵の有無や損害賠償、路面の整備水準や維持水準の引き上げなどが懸念される。

○今後の予定（現時点での予定）

令和 2 年度	準備・課題等の整理
令和 3 年度 5 月頃	現地実証実験（社会実験）申請
令和 3 年度 8 月頃	協議会開催
令和 3 年度 10 月頃	1 回目現地実証実験（社会実験）実施
令和 4 年度 8 月頃	2 回目現地実証実験（社会実験）実施
令和 4 年度 3 月頃	とりまとめ

低速モビリティの導入による、観光客と地域住民の移動環境の向上を確認。



サービス導入を検討